

2018年3月期 第3四半期

# 決算説明会資料

2018年2月13日

UTグループ株式会社

証券コード 2146

# 目次

**1** トピックス

**2** 2018年3月期 第3四半期 決算概要

**3** 2018年3月期 業績予想

**4** コミットメント

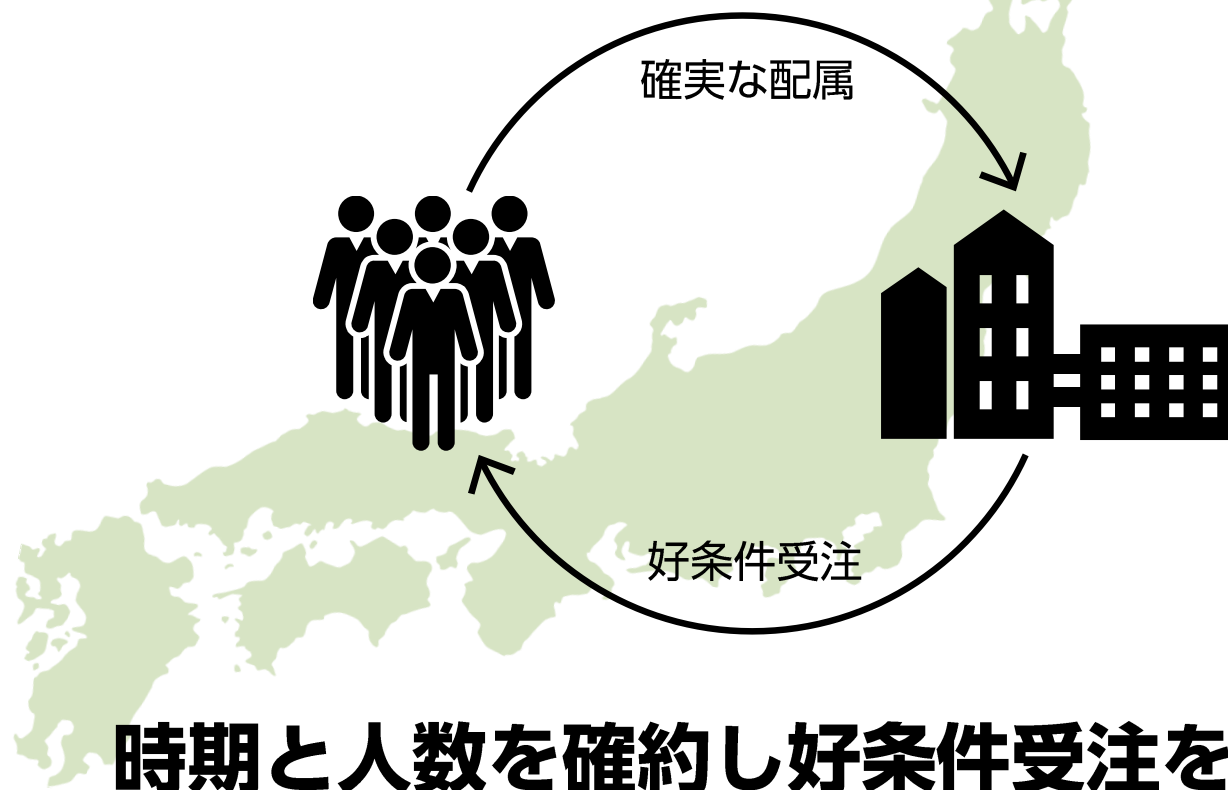
**5** UTグループについて

# 1. トピックス

## 1. トピックス

# 採用と営業の好循環

2016年から日本全国の採用機能を本社に集約  
募集から採用・配属までを一元管理し採用効率を最大化



## 2. 2018年3月期 第3四半期 決算概要

# 連結業績ハイライト

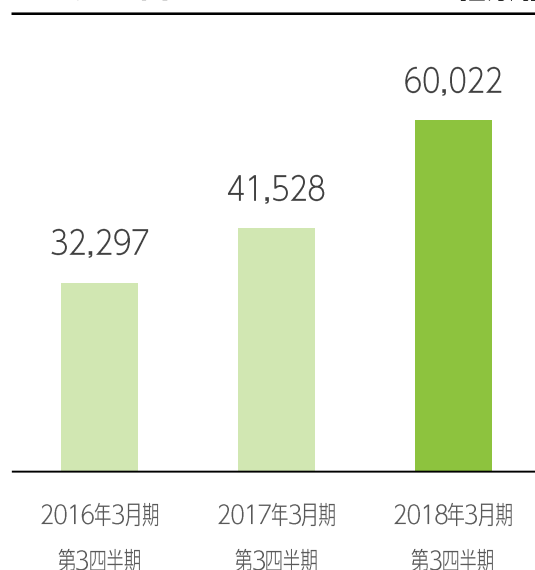
好調な事業環境により45%増収、42%営業増益（前期比）

半導体分野と自動車分野での受注が増加

技術職社員数は4,920名増加（前期比）

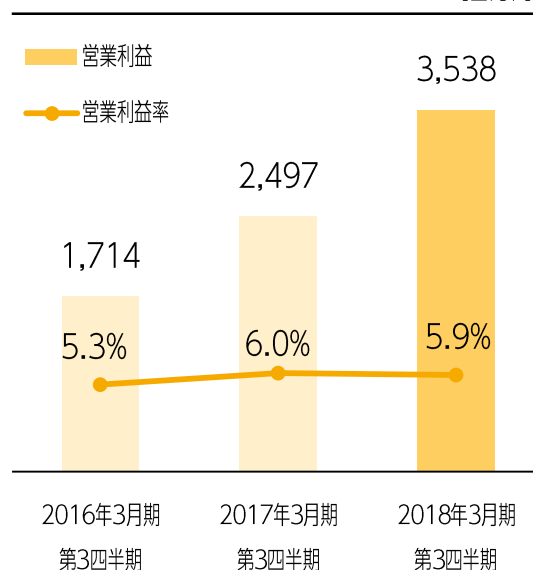
連結売上高

[百万円]



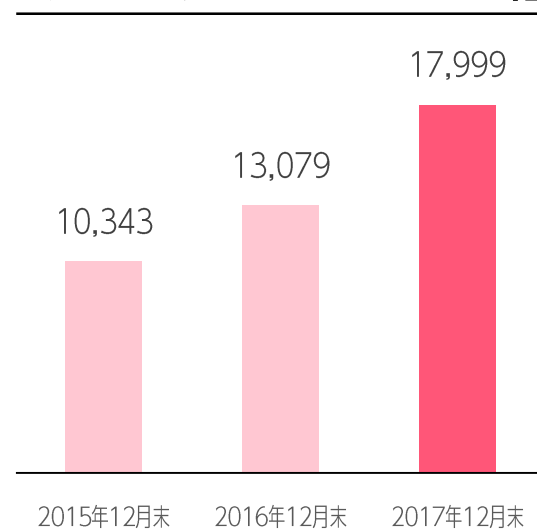
営業利益・営業利益率

[百万円]



技術職社員数

[名]



## 2. 2018年3月期 第3四半期 決算概要

# 連結損益計算書の概要

[百万円]

	2017年3月期 第3四半期		2018年3月期 第3四半期		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	41,528	100.0%	<b>60,022</b>	100.0%	18,494	44.5%
売上総利益	8,314	20.0%	<b>11,845</b>	19.7%	3,531	42.5%
販売費及び一般管理費	5,817	14.0%	<b>8,307</b>	13.8%	2,490	42.8%
営業利益	2,497	6.0%	<b>3,538</b>	5.9%	1,041	41.7%
EBITDA	2,687	6.5%	<b>3,916</b>	6.5%	1,228	45.7%
経常利益	2,454	5.9%	<b>3,528</b>	5.9%	1,074	43.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,561	3.8%	<b>2,293</b>	3.8%	732	46.9%
技術職社員数 [名]	13,079	—	<b>17,999</b>	—	4,920	37.6%

## 営業・採用状況

### 大手製造業のニーズ

大規模な動員力

コンプライアンス基準

無期雇用派遣

## 安定的な人材供給とキャリア形成支援を重視し、 大人数契約に集約

技術職社員数

[名]

↑ 37.6%

13,079

17,999

2016年12月末

2017年12月末

1工場あたりの平均派遣人数

[名]

↑ 71.4%

21

36

2016年12月末

2017年12月末

バックオーダー数

[人]

↑ 4.5%

3,032

3,168

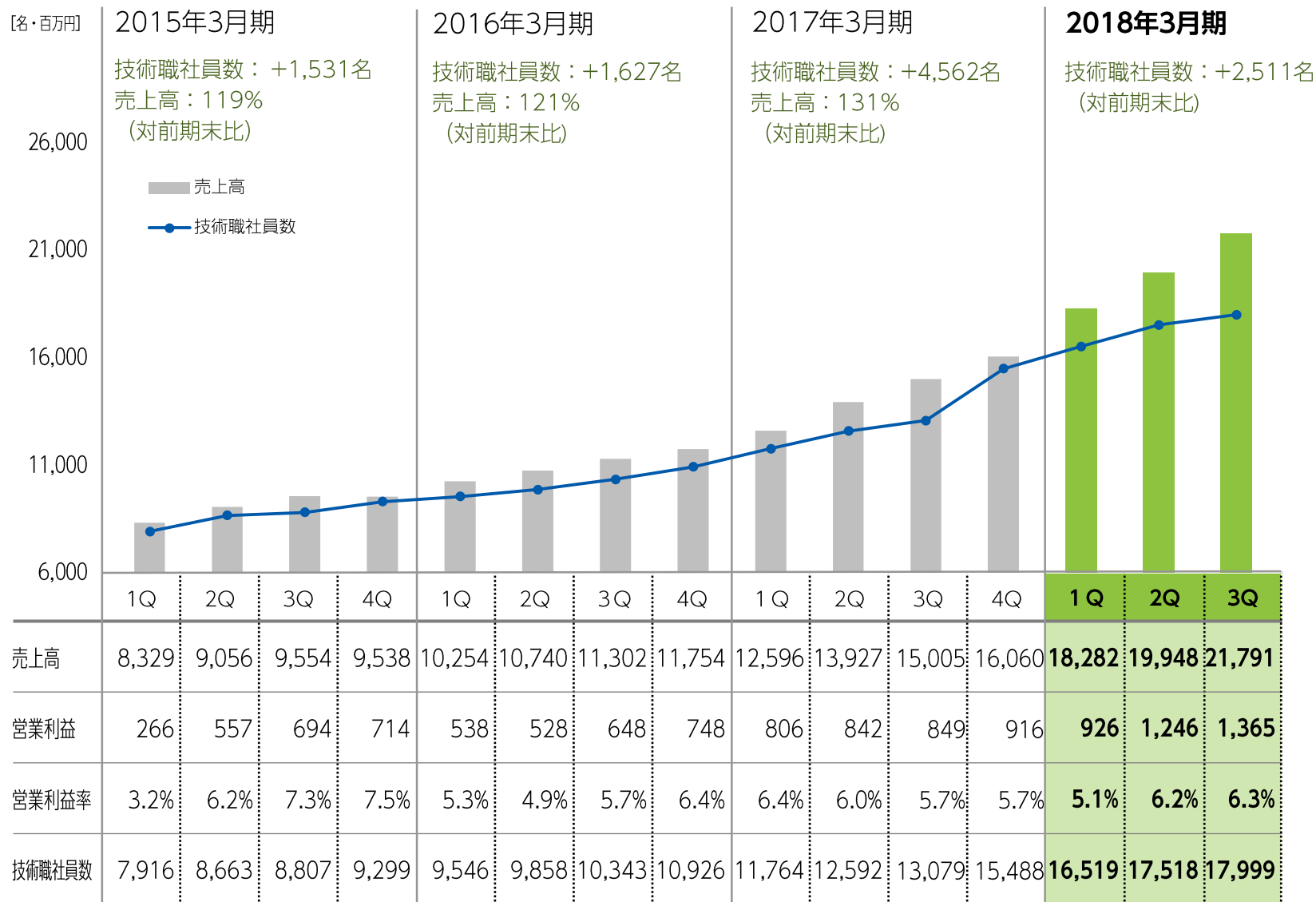
2016年12月末

2017年12月末

※1工場あたりの平均派遣人数とバックオーダー数はUTエイムのみの数値です。



# 四半期単位の売上高・技術職社員数の推移



## 2. 2018年3月期 第3四半期 決算概要

# 連結貸借対照表の概要

[百万円]

	2017年9月		2017年12月		前四半期末比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
<b>流動資産</b>	<b>19,559</b>	79.4%	<b>23,002</b>	82.2%	<b>3,442</b>	17.6%
現金及び預金	7,971	32.3%	10,771	38.5%	2,799	35.1%
受取手形及び売掛金	10,219	41.4%	10,720	38.3%	501	4.9%
<b>固定資産</b>	<b>5,084</b>	20.6%	<b>4,977</b>	17.8%	<b>△107</b>	△2.1%
有形固定資産	307	1.2%	308	1.1%	0	0.2%
無形固定資産	2,709	11.0%	2,646	9.5%	△63	△2.3%
のれん	2,396	9.7%	2,295	8.2%	△101	△4.2%
投資その他の資産	2,067	8.4%	2,022	7.2%	△44	△2.2%
<b>繰延資産</b>	<b>3</b>	0.0%	<b>2</b>	0.0%	<b>△1</b>	△33.3%
<b>総資産</b>	<b>24,646</b>	100.0%	<b>27,981</b>	100.0%	<b>3,334</b>	13.5%
<b>流動負債</b>	<b>13,194</b>	53.5%	<b>14,298</b>	51.1%	<b>1,103</b>	8.4%
短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金	2,127	8.6%	2,322	8.3%	195	9.2%
<b>固定負債</b>	<b>4,637</b>	18.8%	<b>5,984</b>	21.4%	<b>1,347</b>	29.0%
長期借入金	4,403	17.9%	5,745	20.5%	1,341	30.5%
<b>純資産</b>	<b>6,815</b>	27.7%	<b>7,698</b>	27.5%	<b>883</b>	13.0%
株主資本	6,814	27.7%	7,698	27.5%	883	13.0%
<b>負債＋純資産</b>	<b>24,646</b>	100.0%	<b>27,981</b>	100.0%	<b>3,334</b>	13.5%
<b>グロスDELシオ</b>	<b>1.00</b>	—	<b>1.06</b>	—	—	—

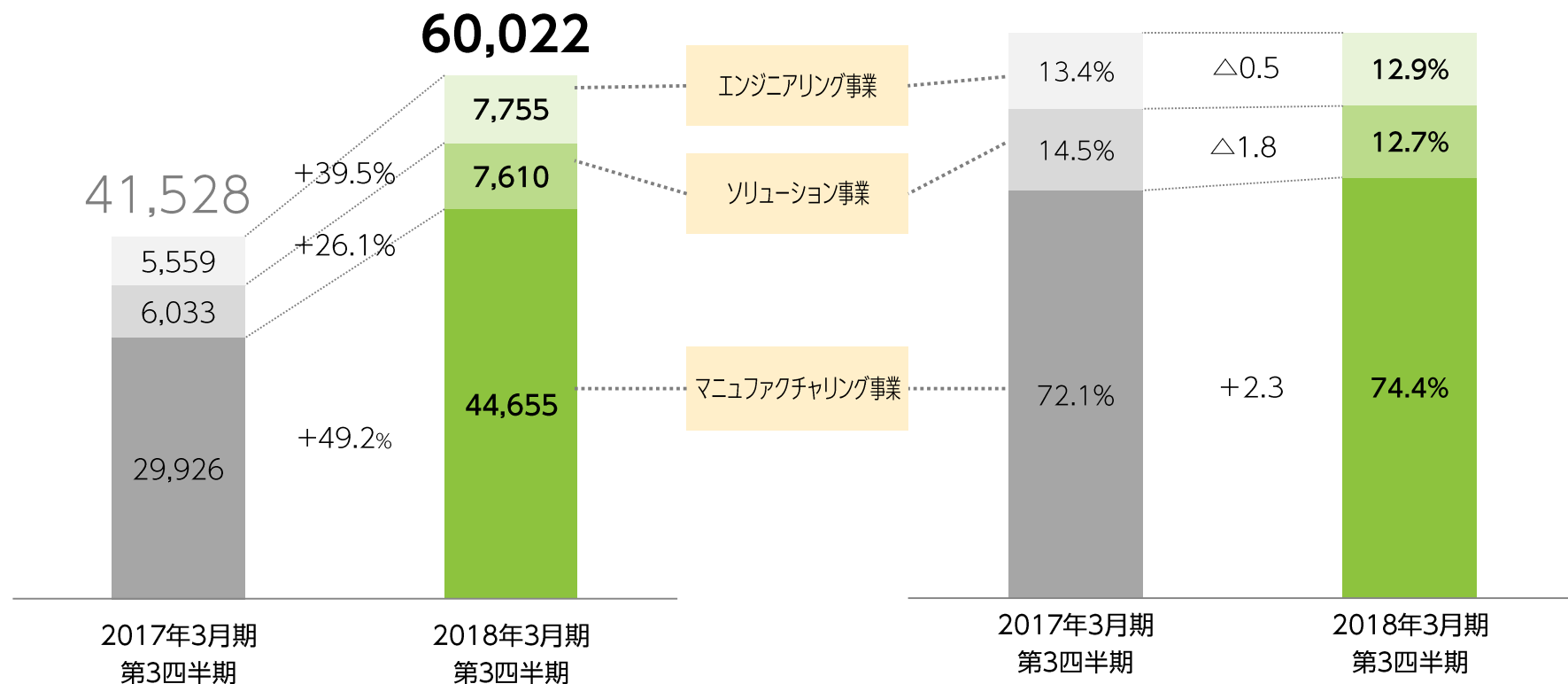
# セグメント別業績 - 売上高推移・構成比

- 引き続き高い人材需要により全セグメントで増収
- マニュファクチャリング事業はコミット受注により大幅増収

売上高

[百万円]

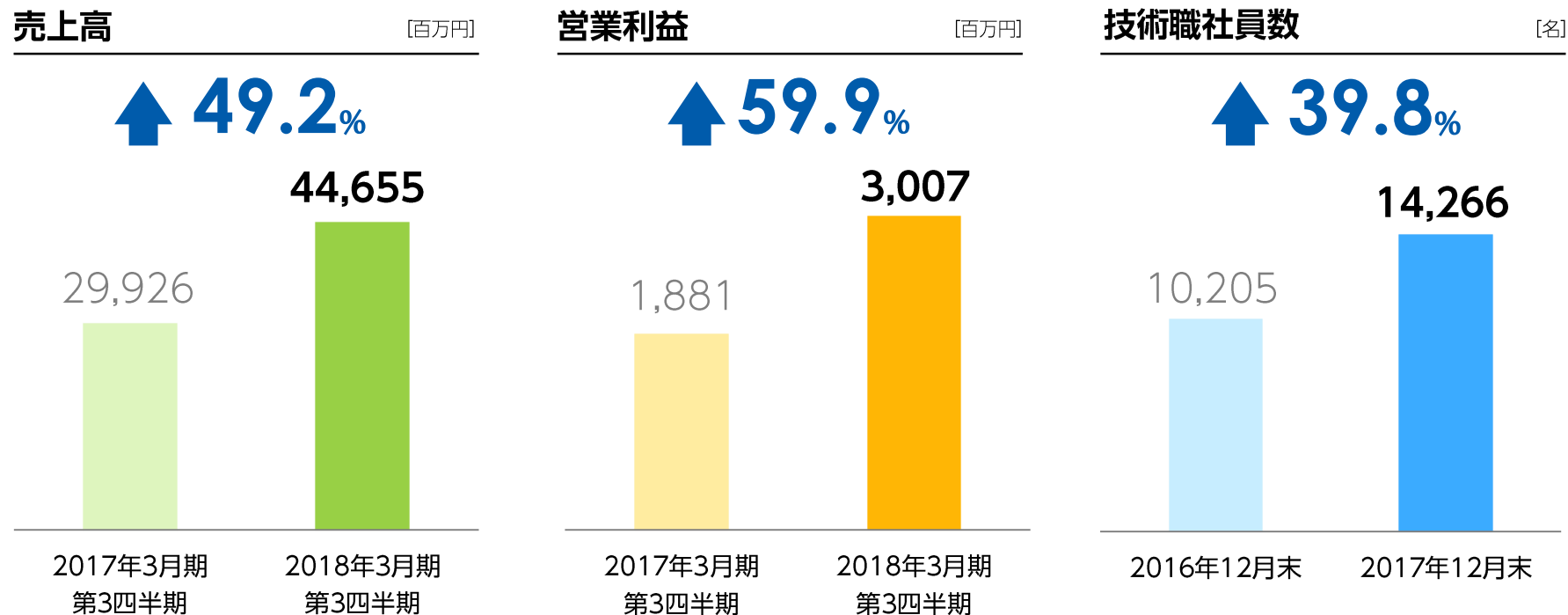
売上高構成比



\*合計には調整額950万円を含みます。

## セグメント別業績 - マニュファクチャリング事業

- 半導体・電子部品分野を中心に需要が旺盛
- 完成車メーカーへの参入により自動車分野での受注が増加

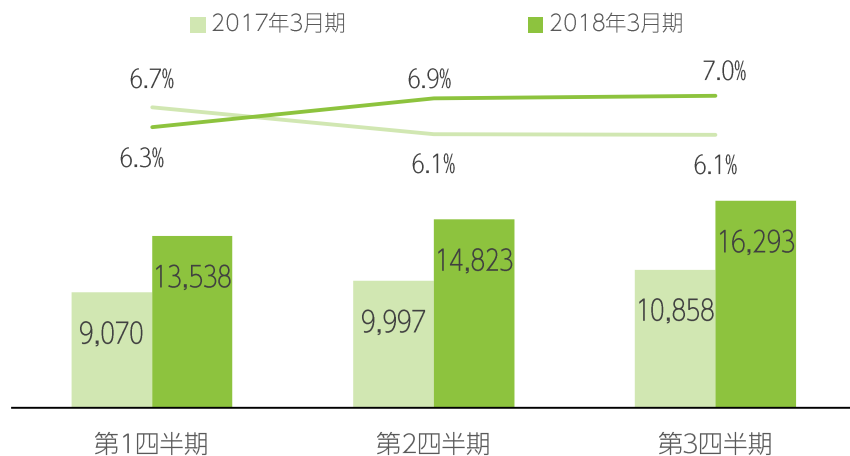


## 2. 2018年3月期 第3四半期 決算概要

# セグメント別業績 - マニュファクチャリング事業

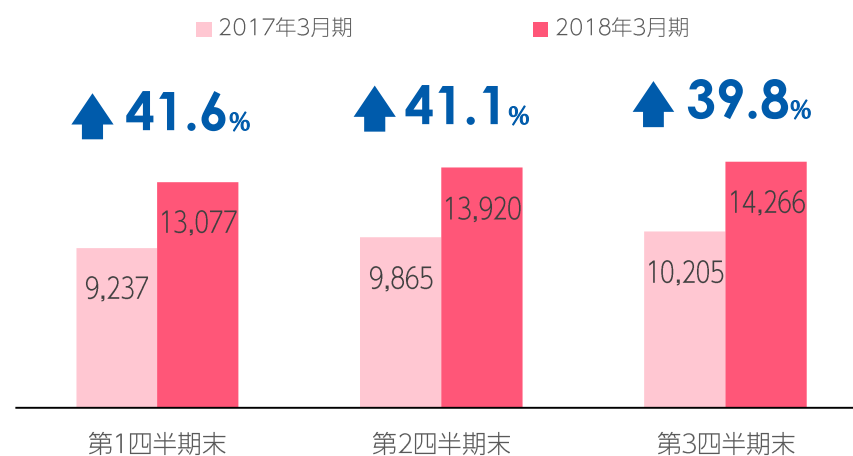
### 売上高・営業利益率

[百万円]



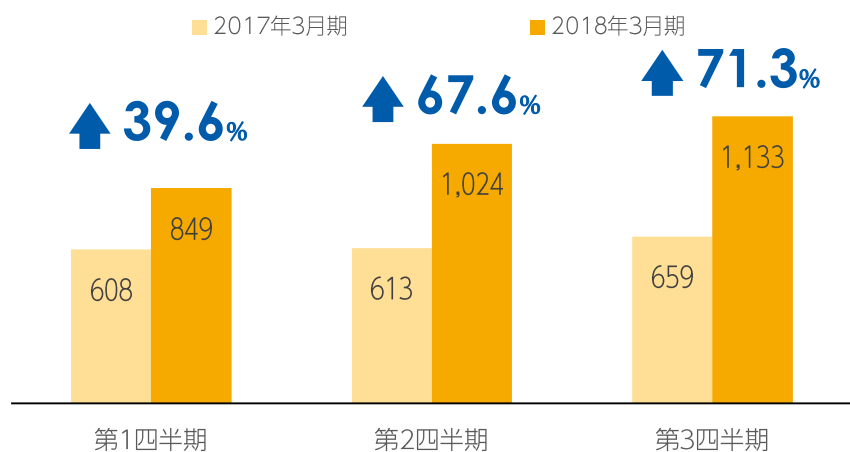
### 技術職社員数

[名]



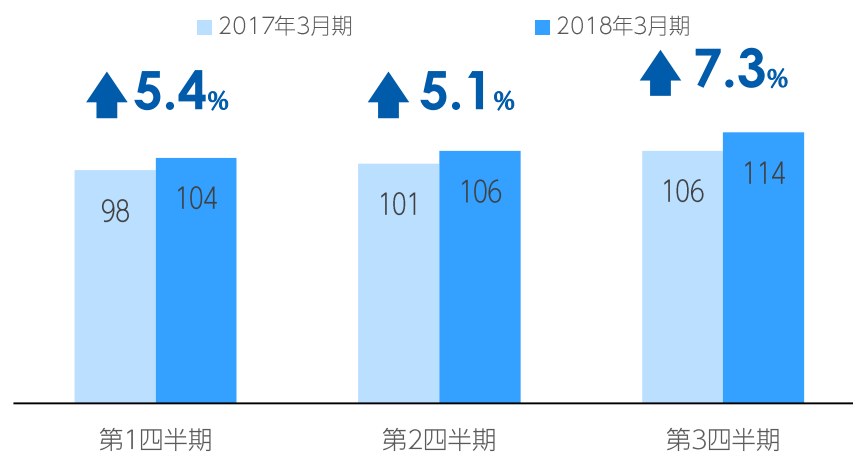
### 営業利益

[百万円]



### 一人あたり売上高

[万円]



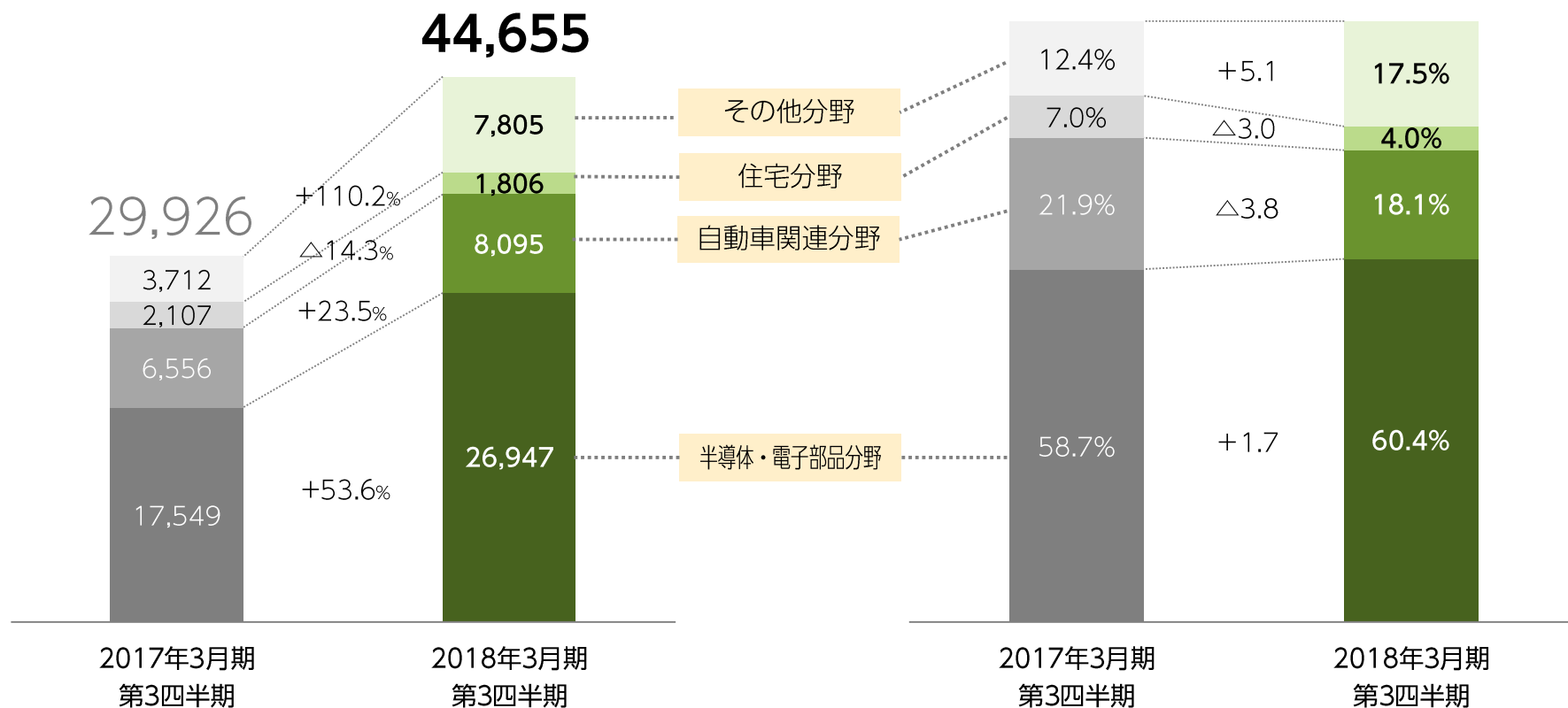
## セグメント別業績 – マニュファクチャリング事業（分野別売上高）

- スマートフォン・車載機器向けを中心に半導体・電子部品分野が大幅に増加
- 自動車メーカーへの配属が進み自動車関連分野も拡大

### 売上高

[百万円]

### 売上高構成比

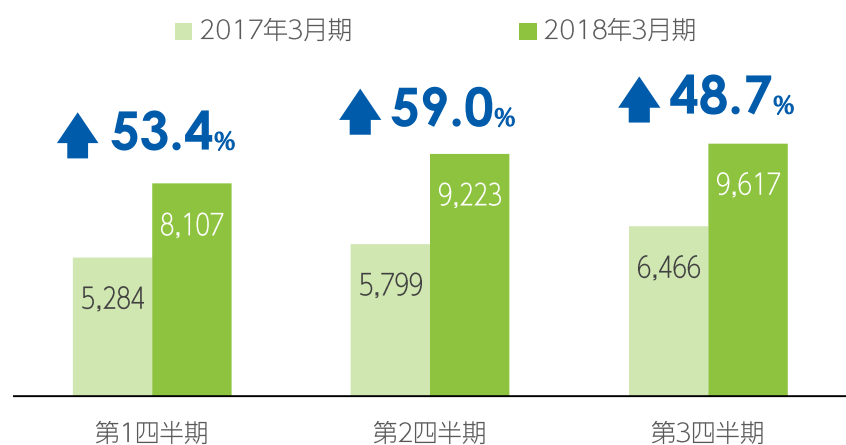


## 2. 2018年3月期 第3四半期 決算概要

# セグメント別業績 – マニュファクチャリング事業

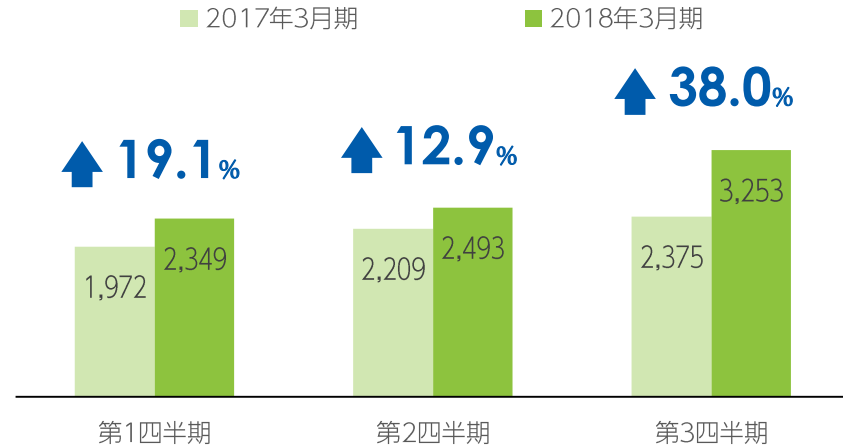
### 半導体・電子部品分野

[百万円]



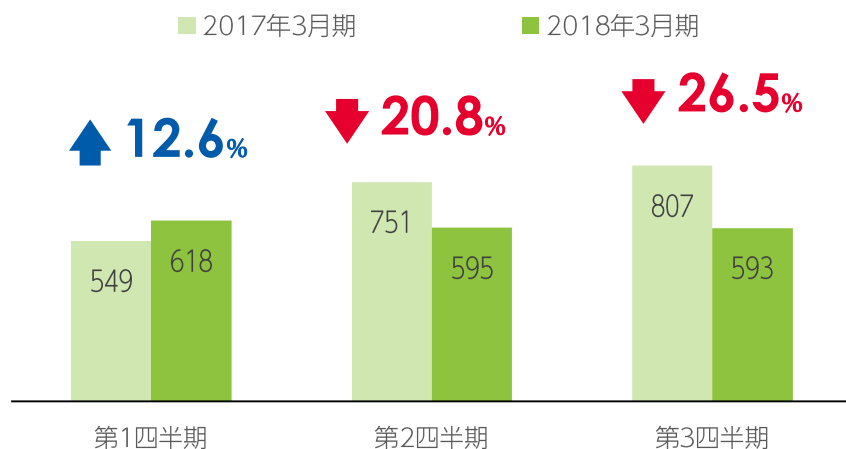
### 自動車関連分野

[百万円]



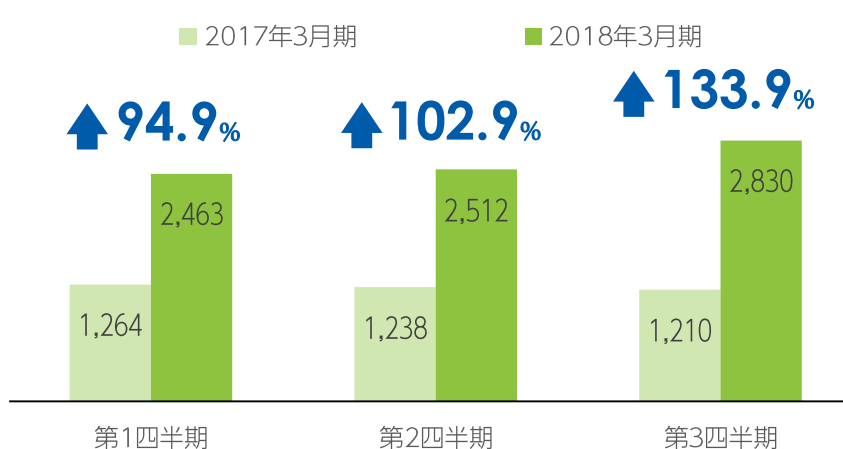
### 住宅分野

[百万円]



### その他分野

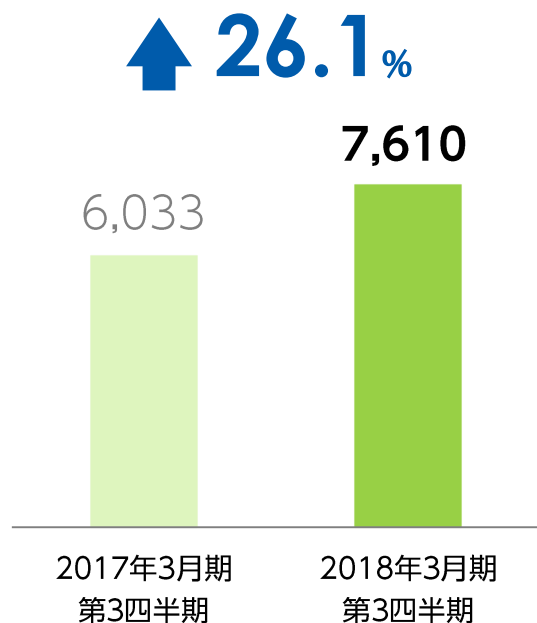
[百万円]



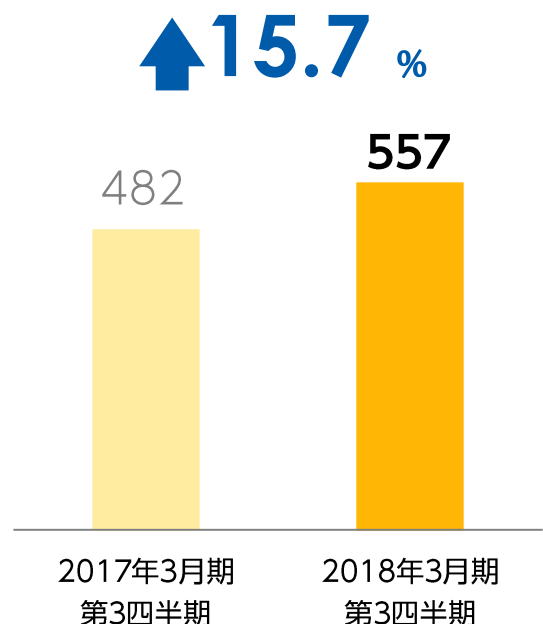
## セグメント別業績 - ソリューション事業

○ 大手メーカーへのソリューション提案による取引拡大により売上高が増加

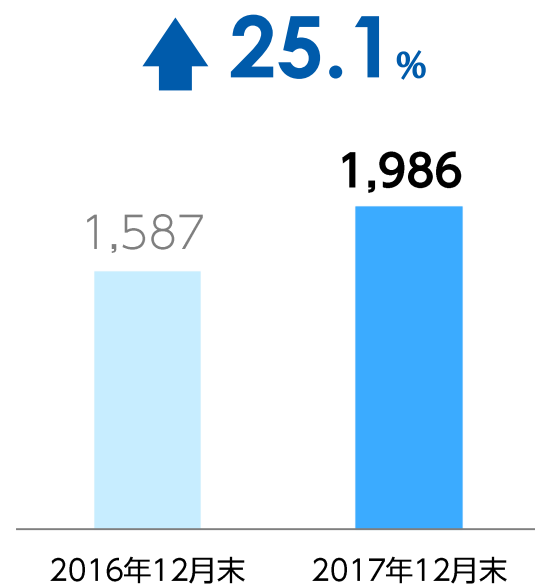
売上高 [百万円]



営業利益 [百万円]



技術職社員数 [名]



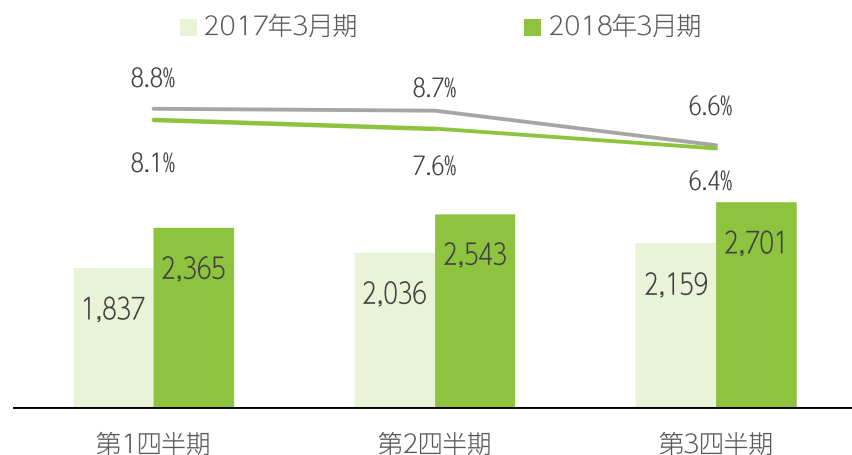


## 2. 2018年3月期 第3四半期 決算概要

# セグメント別業績 - ソリューション事業

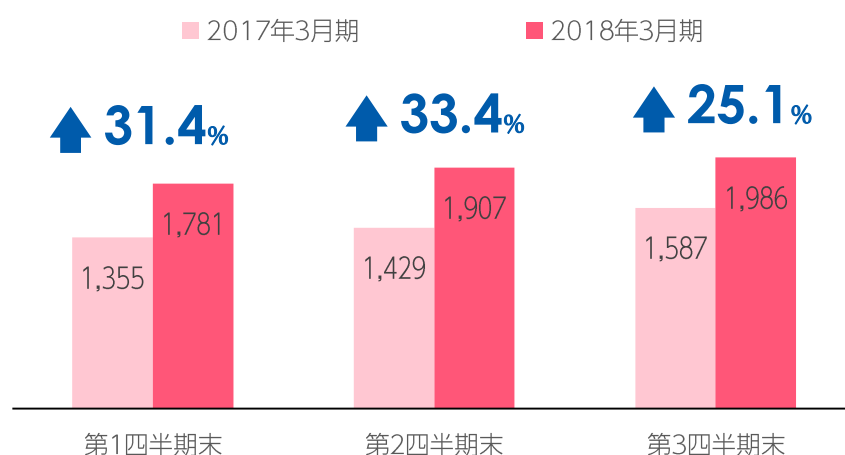
### 売上高・営業利益率

[百万円]



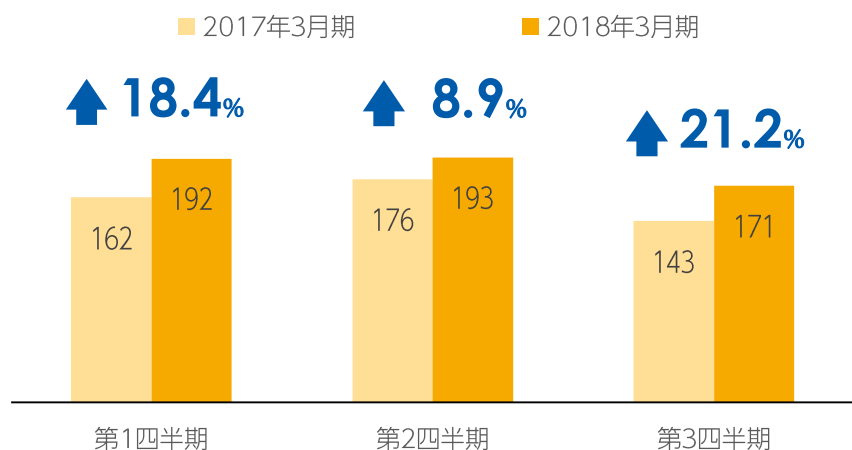
### 技術職社員数

[名]



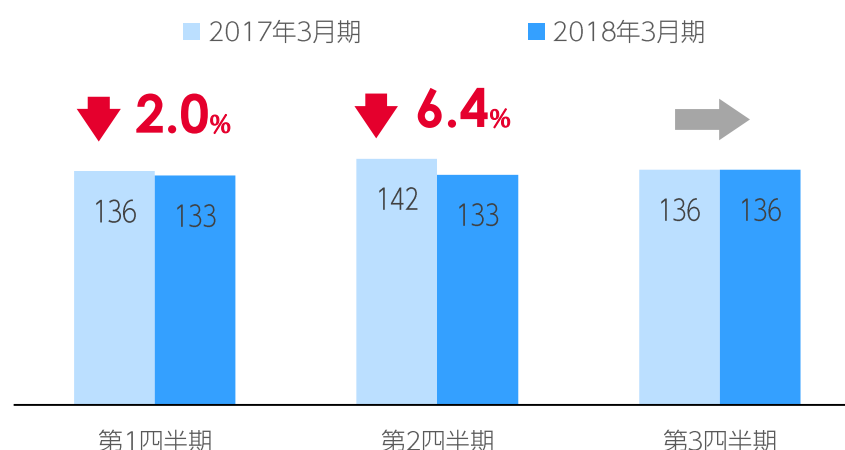
### 営業利益

[百万円]



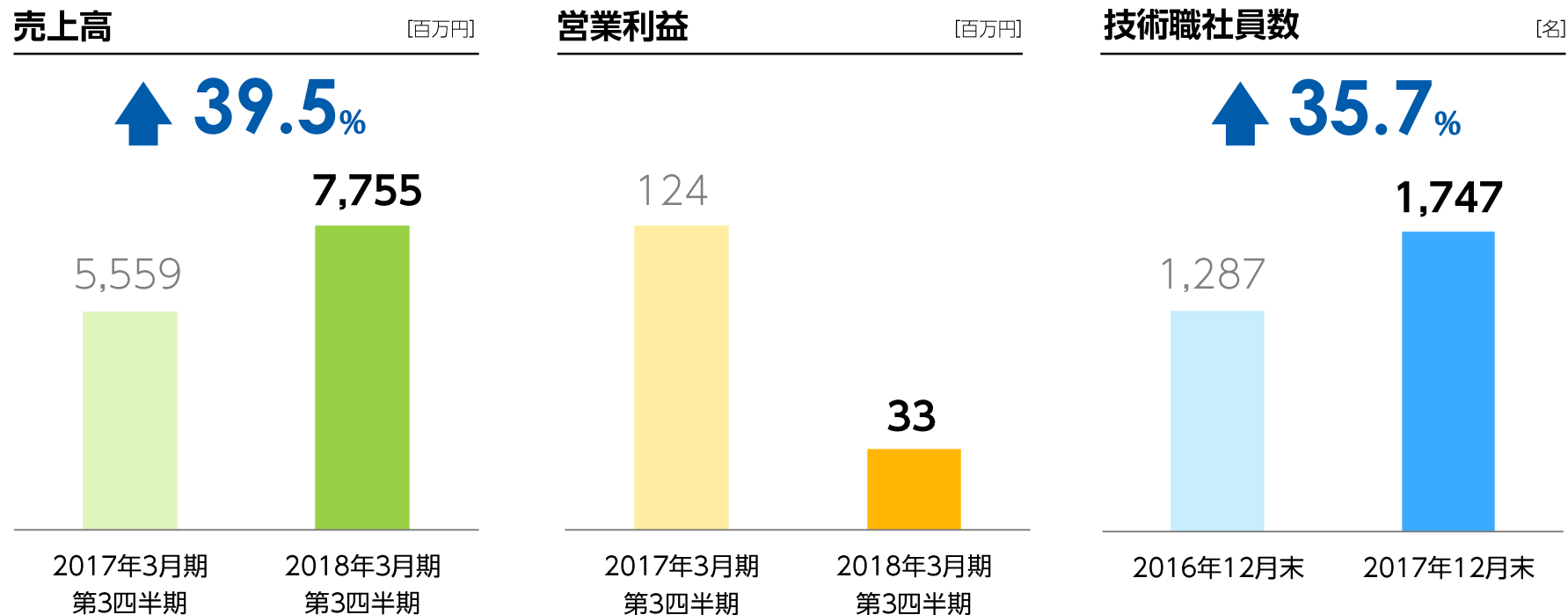
### 一人あたり売上高

[万円]



## セグメント別業績 - エンジニアリング事業

- エンジニア育成体制強化により売上高・社員数が拡大
- 社員数増加により累計で黒字化 (第2四半期の営業利益は△48百万円)

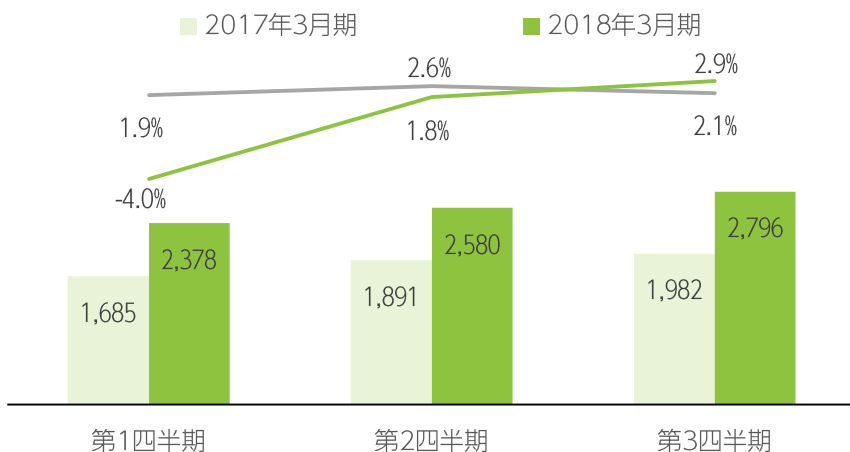


## 2. 2018年3月期 第3四半期 決算概要

# セグメント別業績 - エンジニアリング事業

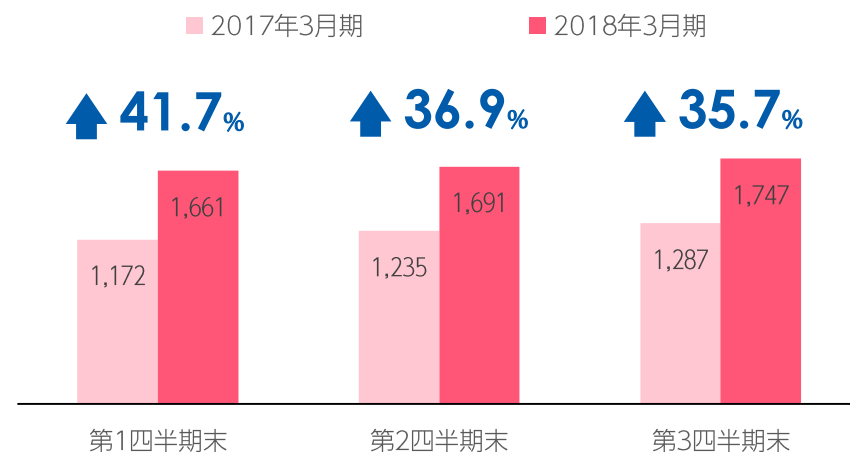
### 売上高・営業利益率

[百万円]



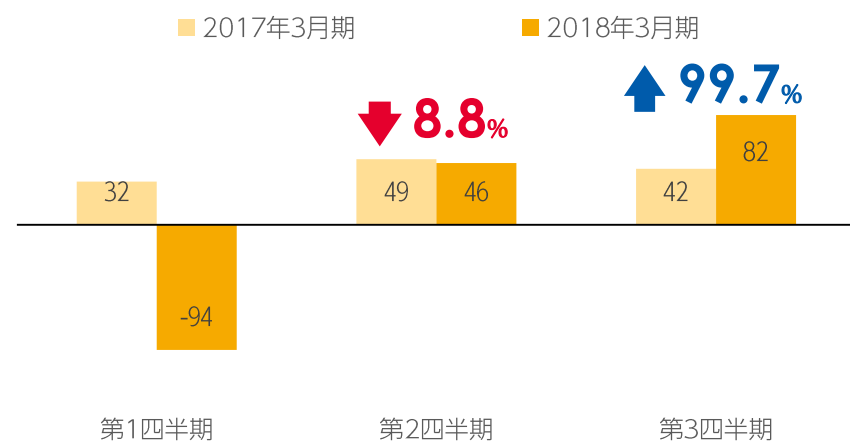
### 技術職社員数

[名]



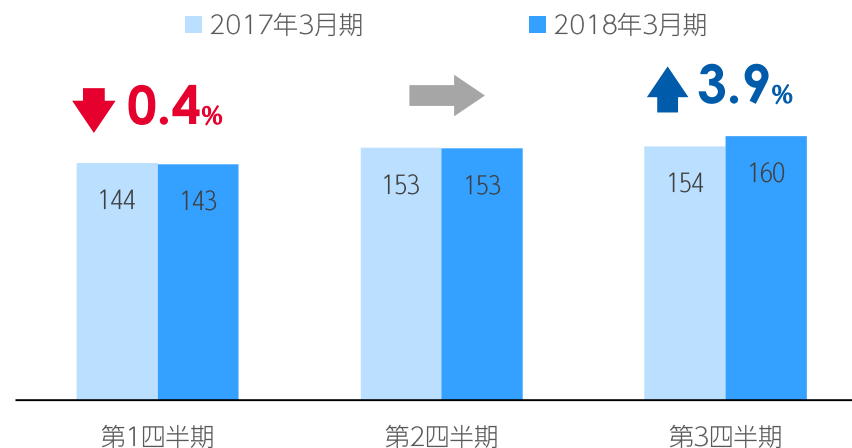
### 営業利益

[百万円]



### 一人あたり売上高

[万円]



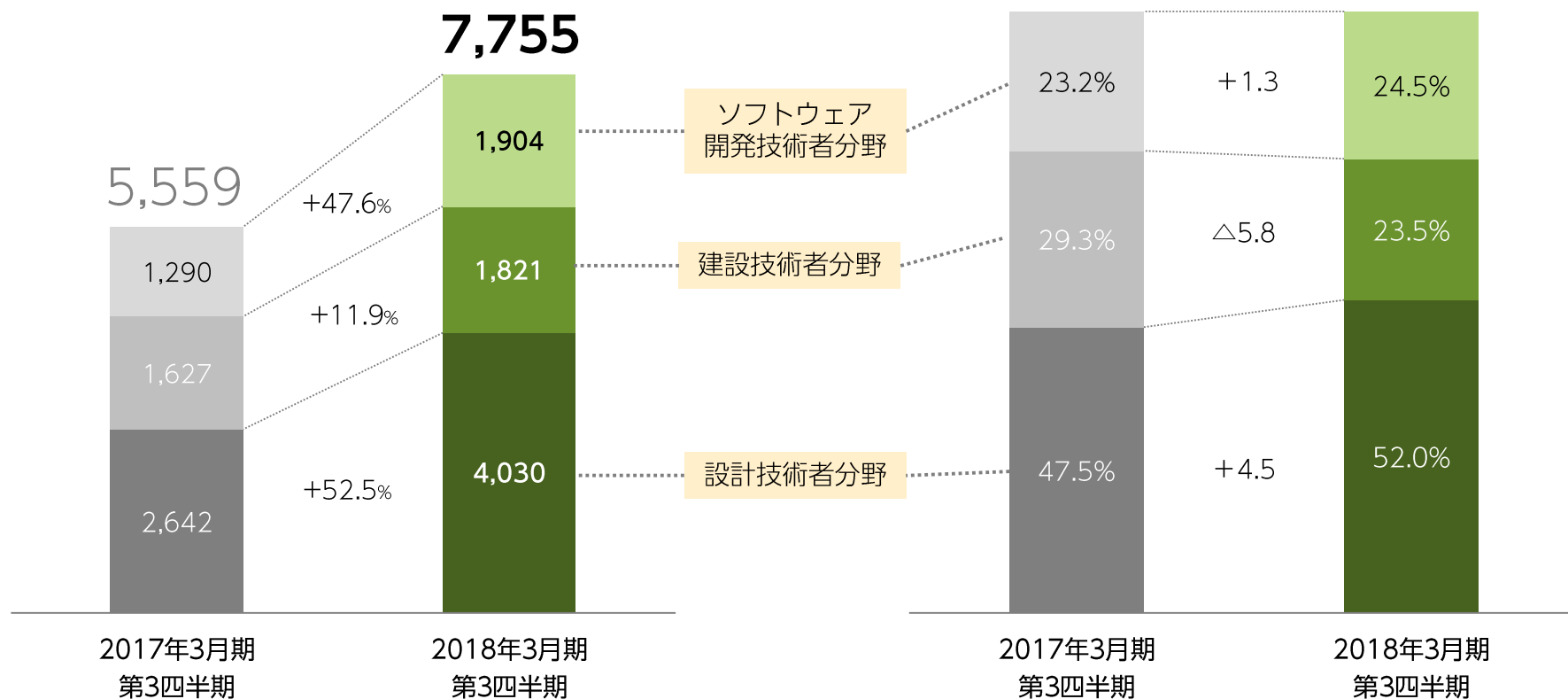
## セグメント別業績 – エンジニアリング事業（分野別売上高）

- 設計技術者分野は半導体製造装置メーカーへの大人数派遣を開始し大幅に増加
- ソフトウェア開発技術者分野はM&A効果もあり大幅に増加

売上高

[百万円]

売上高構成比

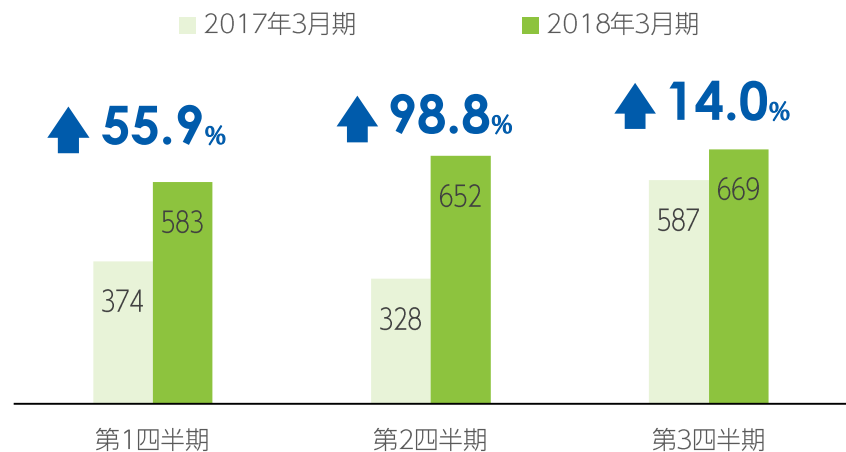


## 2. 2018年3月期 第3四半期 決算概要

# セグメント別業績 - エンジニアリング事業

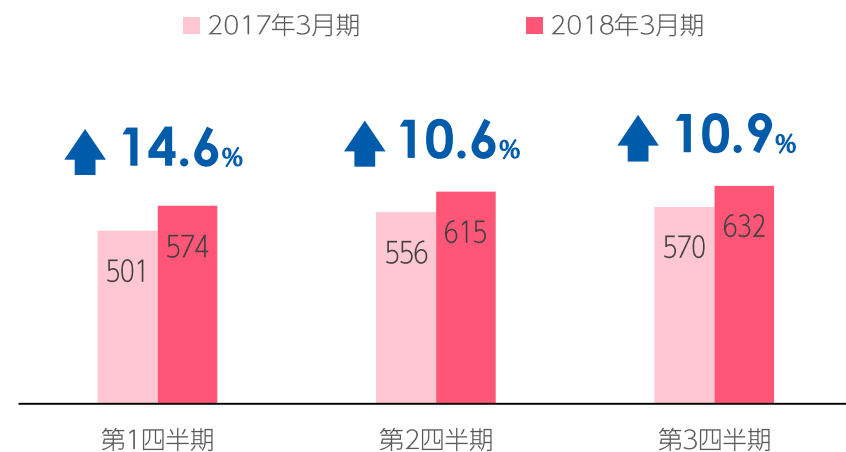
### ソフトウェア技術者分野

[百万円]



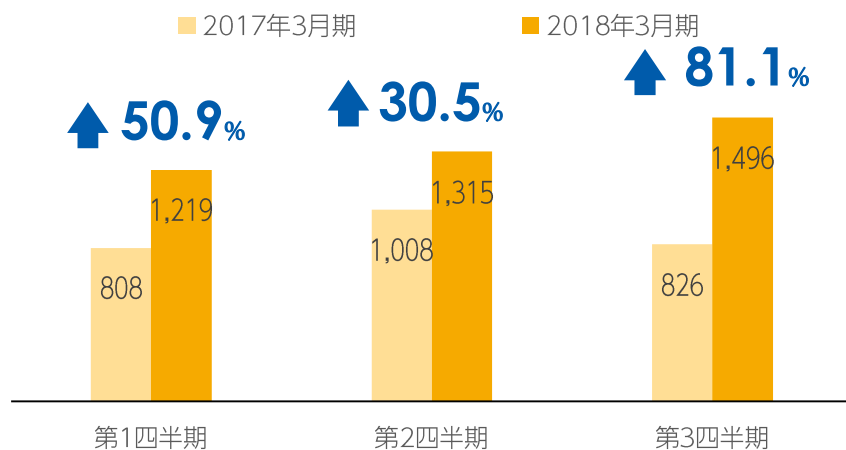
### 建設技術者分野

[百万円]



### 設計技術者分野

[百万円]



# 3. 2018年3月期 業績予想

### 3. 2018年3月期 業績予想

## 通期業績予想を上方修正

- 人手不足に伴う人材需要の拡大と契約単価の上昇
- 半導体・電子部品メーカーの増産に伴う受注の増加と自動車業界との取引拡大

	2017年3月期		2018年3月期				増減額	増減率
	実績	前期比	前回予想	前期比	今回予想	前期比		
売上高	57,588	30.7%	70,000	21.6%	<b>82,000</b>	42.4%	12,000	17.1%
営業利益	3,413	38.7%	4,200	23.0%	<b>5,000</b>	46.5%	800	19.0%
経常利益	3,341	38.0%	4,100	22.7%	<b>4,900</b>	46.6%	800	19.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,033	35.8%	2,800	37.7%	<b>3,400</b>	67.2%	600	21.4%
一株あたり当期純利益 (円)	57.19	—	78.98	—	<b>87.49</b>	—	—	—

# 4. コミットメント



## 4. コミットメント

# コミットメント

中期経営計画におけるM&Aの推進により、成長と財務の安全性の両立を目指し、2017年3月期よりコミットメントを下記のように変更いたしました。

EBITDA成長率 30%以上 (5ヵ年計画の平均成長率)

総還元性向 30%以上

グロスDEレシオ 1.0以下 (2021年3月期に実現)

### グロスDEレシオ

企業の資金源泉のうち、有利子負債が株主資本の何倍に当たるかを示す指標で、一般にこの数値が1以下だと財務内容が健全とされる。

### 総還元性向

純利益のうち株主に配分した額がどの程度の割合かを示す指標

式) 総還元性向 = (配当総額 + 自社株買い総額) ÷ 税引後当期純利益

参考資料

# 5. UTグループについて

# 会社概要

2018年1月31日現在

### 会社概要

商号	UTグループ株式会社
設立	2007年4月2日
資本金	6.8億円
上場証券取引所	東証JASDAQ（証券コード：2146）
代表者	代表取締役社長 兼 CEO 若山 陽一
所在地	東京都品川区東五反田1丁目11番5号

### 拠点



### グループ会社

#### UTエイム株式会社

総合製造派遣・請負

#### 株式会社タイト・ワーク

総合製造派遣・請負

#### UTグローバル株式会社

外国人技能実習生管理代行

#### UTパベック株式会社

電池製造派遣・請負

#### UTHP株式会社

総合製造派遣・請負

#### UTテクノロジー株式会社

設計開発エンジニア派遣・受託

#### UTコンストラクション株式会社

建設エンジニア派遣

#### UTシステム株式会社

ITエンジニア派遣・受託

#### 株式会社レイハウオリ

Webサイト制作

#### UTEージェント株式会社

有料職業紹介事業

#### UTライフサポート株式会社

社内福利厚生事業

#### UTハートフル株式会社

特例子会社

## 5. UTグループについて

# 製造派遣分野のリーディングカンパニー

はたらく力で、イキイキをつくる。

創業以来、製造派遣業界では異例の無期雇用による人材派遣事業を展開。

はたらく人の立場に立ったさまざまな制度により

高い定着率を実現し、技術職社員数は過去最高を更新中。



# UTグループのミッションと戦略

### ミッション

「はたらく力で、イキイキをつくる。」

UTグループは、全てのはたらく人に  
チャレンジする機会を与えます。

一人ひとりが高い目標を掲げ、  
果敢に挑戦することが、  
個々人の成長につながり、  
喜びになると考えています。

私たちは、そのイキイキとした姿が、  
あらゆるお客様の期待に応え、  
日本の未来に貢献する力だと信じています。

### 「イキイキをつくる」戦略

#### 安心・安定した雇用

- 正社員雇用（無期雇用派遣）
- 社会保険加入100%
- 地域密着雇用戦略



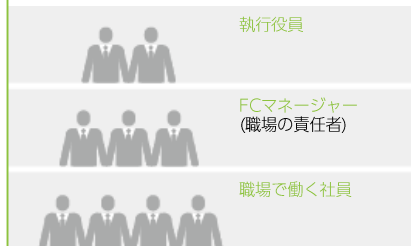
#### チームワーク キャリア形成支援

- 工程一括請負
- チームで未経験者育成
- 専門性追求



#### 向上心育成

- 役職員エントリー制度
- グループ内転職制度（One UT）
- スーパーマネージャースクール



#### 企業価値向上の 社員への成果配分

- 社員株主化施策

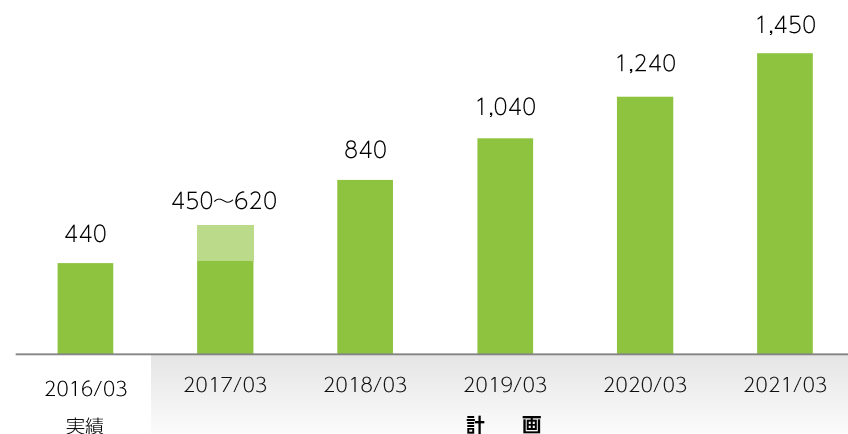


## 5. UTグループについて

# 中期経営計画 (2017年3月期～2021年3月期)

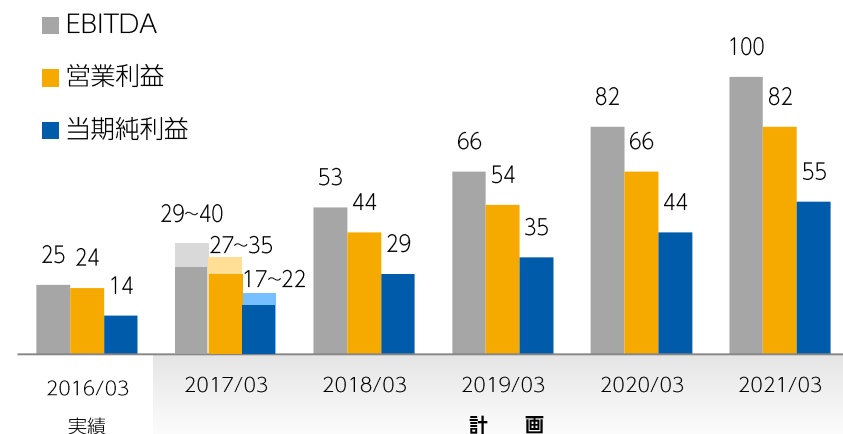
### 売上高

[億円]



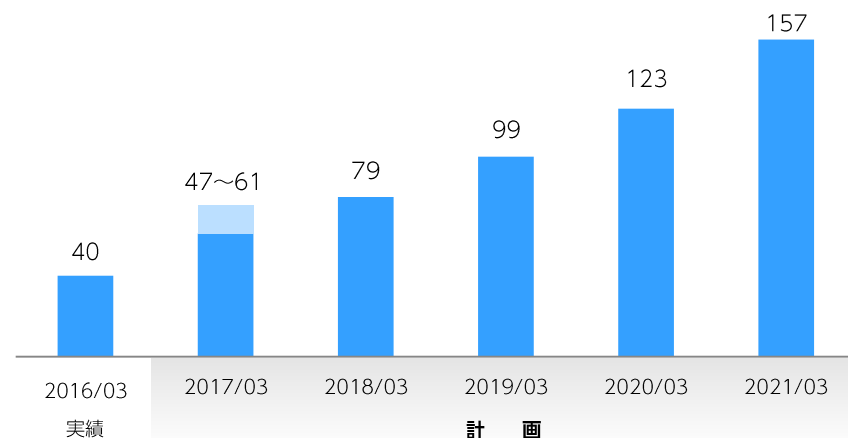
### EBITDA・営業利益・当期純利益

[億円]



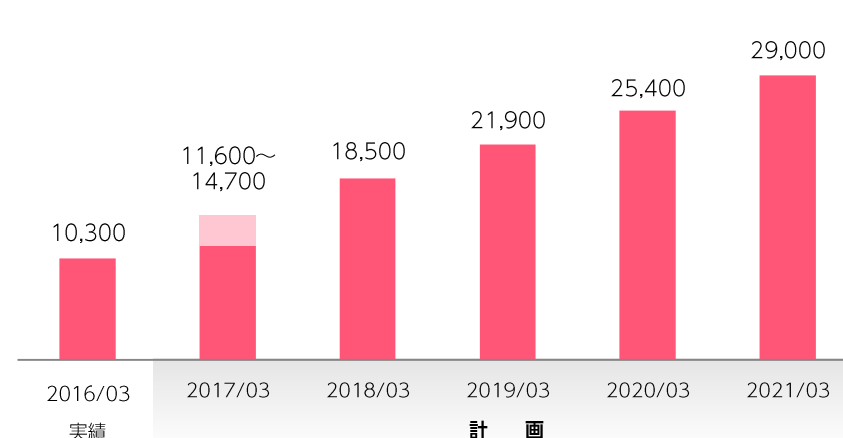
### EPS

[円]



### 技術職社員数

[名]



## 5. UTグループについて

# 株主還元方針

### 株主還元方針

当社グループは、『安定した財務基盤の確立と積極的な事業展開による高い成長を通じた持続的な企業価値の向上』を経営目標としており、中期経営計画において、グロスDEレシオ1.0以下（2021年3月期に実現）、EBITDA成長率30%以上（中期経営計画5カ年の平均成長率）をコミットメントとしております。

株主の皆様に対する利益還元も経営の重要課題と認識しており、**配当金および資本効率の向上に資する自己株式取得を通じて、総還元性向30%以上を基準**に、株価水準、事業環境等を総合的に判断して最適な株主還元を実施いたします。

### 総還元性向の推移

[千円]

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
当期純利益	934,660	1,168,338	1,497,496	2,033,027
配当総額	526,552	-	-	-
自己株式取得額	-	999,985	749,973	609,862
<b>総還元性向</b>	<b>56.3%</b>	<b>85.6%</b>	<b>50.1%</b>	<b>30.0%</b>

$$\text{総還元性向} = (\text{配当金} + \text{自己株式取得}) \div \text{当期純利益} \geq 30\%$$

配当金と自己株式取得の割合は株価水準で判断

株価水準が割安の判断基準

PEGレシオ<sup>※1</sup> < 1~2倍

株価水準が割高の判断基準

PEGレシオ > 2倍

以上の基本方針をベースに総合的に判断し最適な株主還元を実施

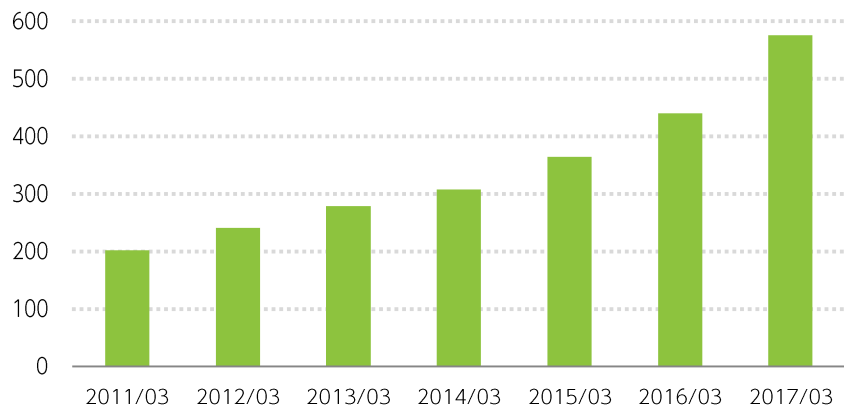
※1 PEGレシオ = 予想PER ÷ 年間EPS成長率

## 5. UTグループについて

# 業績推移

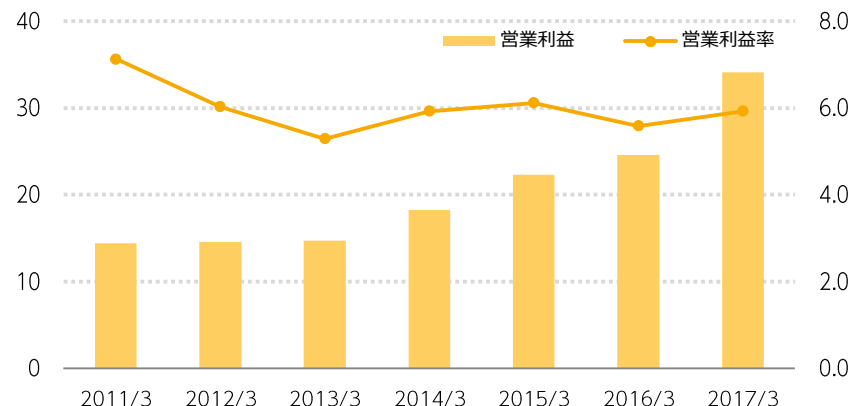
### 売上高

[億円]



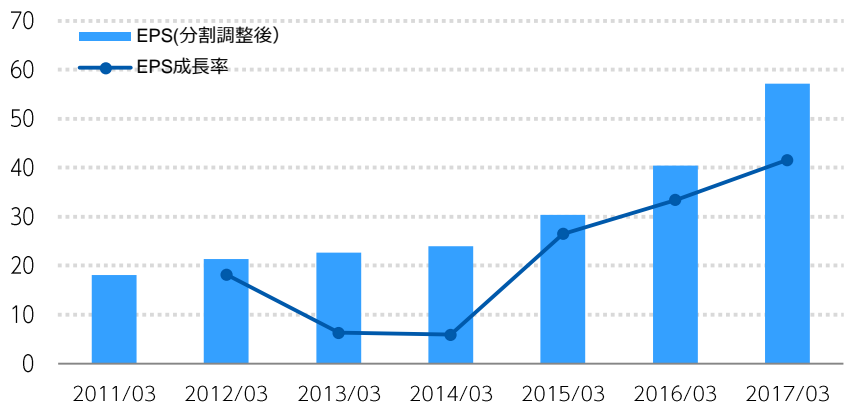
### 営業利益 (左軸) / 営業利益率 (右軸)

[億円・%]



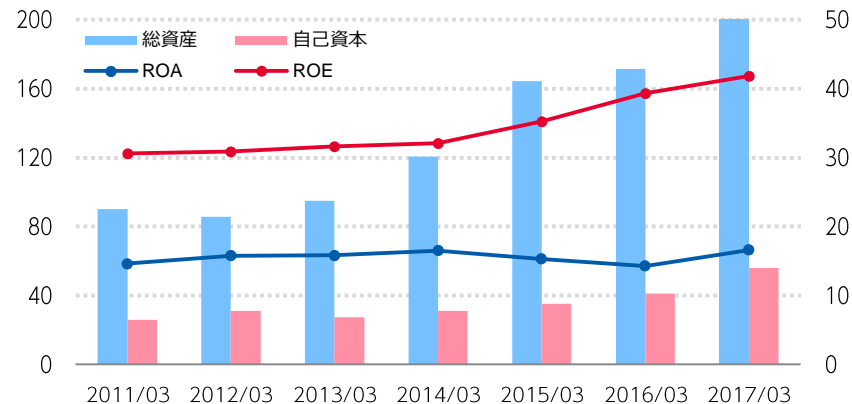
### EPS・EPS成長率

[円・%]



### 総資産・自己資本 (左軸) / ROA・ROE (右軸)

[億円・%]

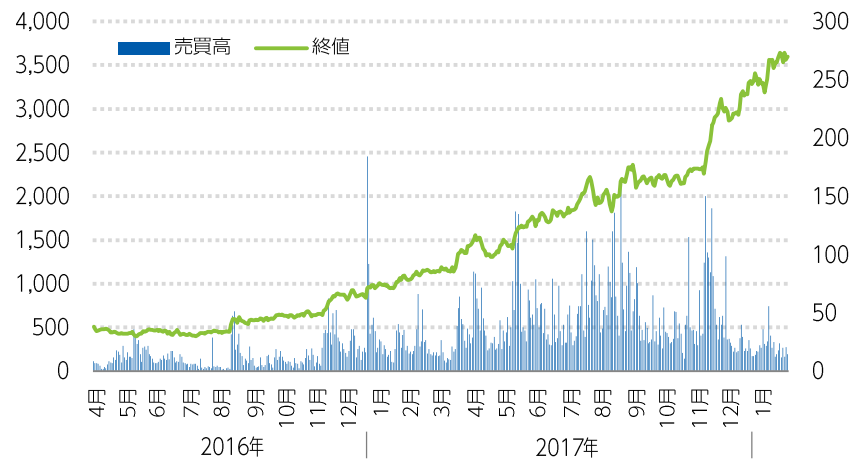




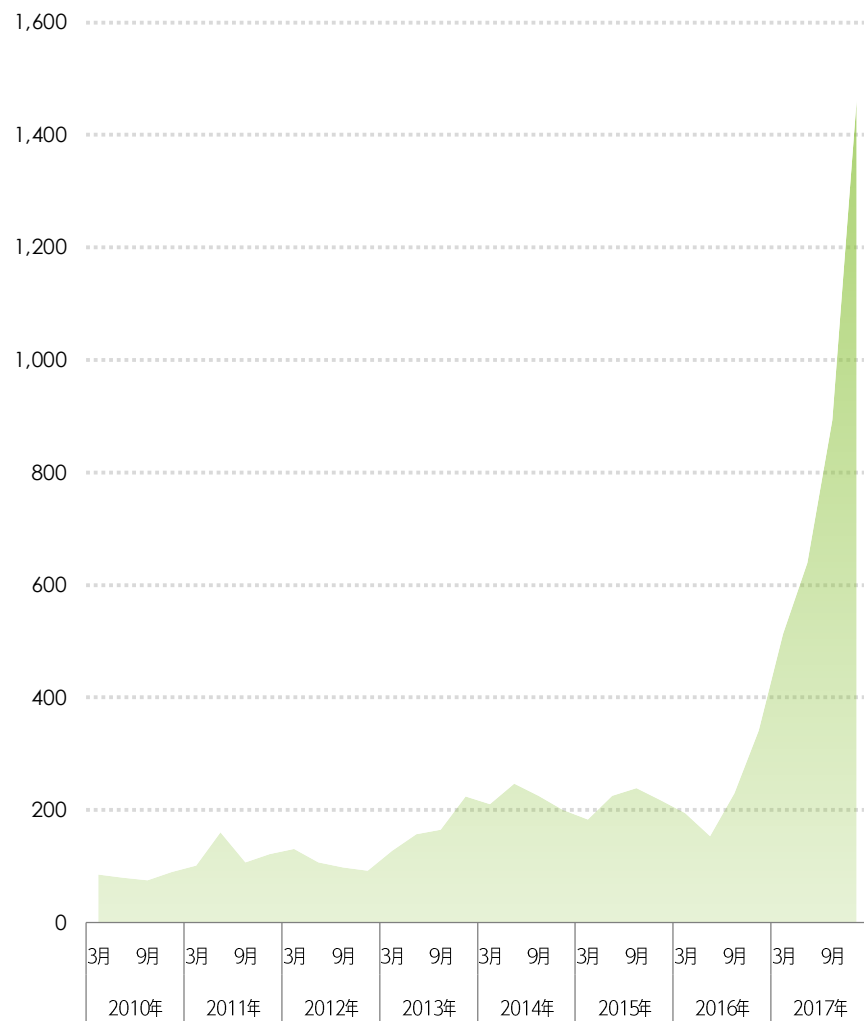
## 5. UTグループについて

# 株価の推移

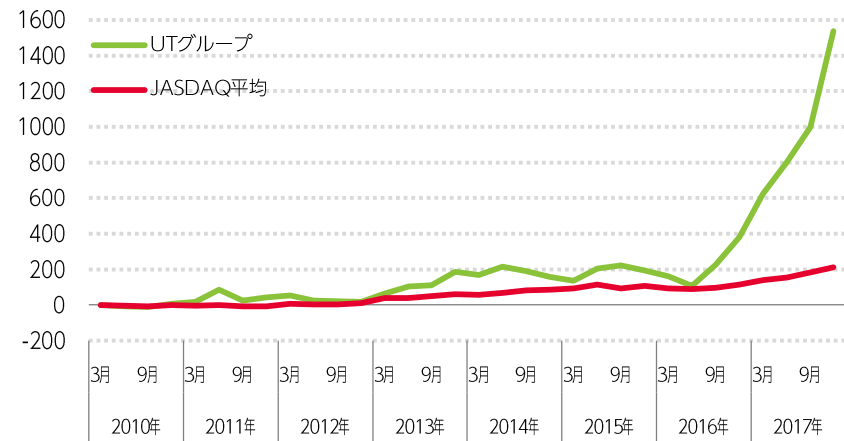
株価 (左軸) / 売買高 (右軸) [円/万株]



時価総額の推移 [億円]



株価の変動率 (2010年3月末比) [%]



# はたらく力で、イキイキをつくる。



Upward Together

## UTグループ株式会社

### 本資料に関する注意事項

本資料は、当社の事業計画の情報提供をするためのものです。本資料に記載された推測や業績予測等は、本資料作成時点における当社独自の判断に基づく計画値であります。また、今後の実際の業績などは、さまざまな要因によって予告なしに変更される場合や、異なる結果となる可能性があります。

### お問合せ先

UTグループ株式会社 社長室  
TEL： 03 - 5447 - 1710  
e-mail： [ir@ut-g.co.jp](mailto:ir@ut-g.co.jp)